

■ 編集委員

齋藤 一之 (委員長)

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 板橋 明 | 糸山 進次 | 菰田 二一 | 鈴木 洋通 | 竹内 勤 | 土田 哲也 |
| 中塚 貴志 | 西村 重敬 | 禾 秦壽 | 廣瀬 隆則 | 間嶋 満 | 渡辺 修一 |

(五十音順)

■ 編集後記

30巻4号をお届けします。小生も埼玉医科大学雑誌の編集委員の2期目を務め、2回目の編集後記を書かせて頂く事になりました。今年は、遠山博先生の勲三等受賞の祝賀会並びに遠藤實先生の日本学士院賞受賞と目出度いことが重なり、しかも現役の卒業生が100%医師国家試験合格で埼玉医科大学として快挙をあげた年となりました。前者は両先生のご人徳と精進の賜物と思ひますし、後者は国家試験対策委員の先生方と学生諸君のご努力の成果と慶んでおります。

さて国外に眼を転じて見ますと、イラク戦争とそれに関連した略奪とテロや北朝鮮の日本人拉致問題、核開発など問題は山積しています。医療の世界ではEBMと云う言葉が注目されて数年となりますが、イラク戦争については本当に根拠の立証に基づいた戦争であったのか？選択の余地の無い戦争であったのかは疑わしい限りです。勿論、思想や宗教の違いがあるにせよ、全宇宙で唯一かも知れない地球と云う小さな星の中で、しかも同じ人間同士が醜い戦争や飽くなきテロをなぜ犯さなければならないのか？北朝鮮問題も一見異なるようで、実は同じ点と線上にある問題だと私は考えます。言葉は違っても、宗教が違ったとしても、お互いの歴史、文化を理解して時間をかけて話し合えば和解できると、私は信じています。また国内では現在、衆議院選挙が始まっていますが、選挙公約をマニフェストと公表しているようですが、本来マニフェストとは‘意見を発表する’とか‘政見発表大会を開く’と云う意味で、決して選挙公約ではないので、各党が国民に対する真の標榜が無いためにマニフェストと云う外来語で国民に党見を述べているだけなのかと疑いの眼差しでTVのコマーシャルを見ている次第です。

真の標榜と云えば、本埼玉医科大学雑誌のあり方や埼玉医科大学医学会のあり方も問題となっています。埼玉医科大学雑誌では如何に素晴らしい論文や総説を掲載して頂くかが、本雑誌の命運に懸かっていますし、埼玉医科大学医学会総会については、ポスター、一般演題や特別講演形式から、数年前からのシンポジウム形式に変わったものの、出席者が相変わらず低調が続いています。今年は、残念ながら医学会総会が中止と云うことになりましたが、雑誌も医学会総会も埼玉医科大学の真の profess を示す公の機会ですので、会員全員でこれらのあり方に対して意見を頂戴できればと思います。来年も医師国家試験合格100%を祈りつつ筆を置きます。

(菰田二一)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/uinfo/jsms/>

第30巻 第4号 通巻111号 (季刊)

編集責任者

齋藤 一之

平成15年9月30日 発行

発行所

埼玉医科大学医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2125 (直通) FAX 049(276)2127 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741 (代) <http://www.atene.co.jp>